



わがや



発行：柏市在宅医療・介護多職種連携協議会 啓発・広報部会 編集：柏市保健福祉部地域医療推進課 制作：白玉社 9月・3月年2回発行 発行部数：180,000部

前を向いて
一步踏み
出そう！

家族の病気と共に生きる

前号のわがや vol.10 で、末期の胃がんで余命半年であることが分かったiさん。医療・介護のサポートを受け、家族で支えあいながら自宅での療養を続けてきました。ある日、iさんは体が動くうちに家族との思い出を残そうと遠出を提案します。そして、妻はこれからの人生について考えます。がんの在宅療養、介護、子育て、日常生活…不安や心配を抱えながらも、家族で病気と向き合い、前向きに歩み続けるiさん一家の日々をご紹介します。

チームのサポートであなたの希望を叶えます

がんの発覚から4ヶ月。iさん一家はケアマネジャーと話し合い、医療や介護、行政、地域の人たちからもサポートを受けながら療養生活を送っています。今まで通りの生活を送るために、iさんは自分で出来ることは自分でやりたいと自宅でリハビリを続けてきました。

そして、iさんと家族の希望であるテーマパークへ遊びに行くことにしました。

かかりつけ医に相談

家族でお出かけいいですね！心配事は事前に解決していきましょう。何かあった時の対処方法は奥さんに伝えておくね。帰ってきたらすぐに往診しますから、安心して楽しんでくださいね！



理学療法士とリハビリ

いつもリハビリを頑張っていたのはそのためだったんですね！身体の支え方や車イスの使い方、介護方法など、iさんご自身もご家族のみなさんも練習していきましょう。



みなさんのサポートのおかげで、身体の具合も悪くならず楽しく過ごせています！

ケアマネジャーとプラン作り

お子さんたち喜びますよ！安全に出かけられるように移動ルートや食事場所などのプランを一緒に考えましょう。車イスなど必要な用具も考えて準備していきましょうね。



看護師と体調管理

お出かけまでにしっかり体調を整えていきましょう。お薬の準備や困ったときの対処方法をリストアップしますね！何かあった時は遠慮せず、私に連絡してください。

でも、楽しいからと言って無理はしないように気をつけてください！



家族のために
自分のために

働きながら介護するという選択

iさんの妻は、これまで正社員として働きながらiさんの介護をしてきました。しかし、がんは徐々に進行し、介護と仕事、子育てを今まで通りこなせるか悩みます。

介護、仕事、子育て…私にはどれも大切。子どもたちと自分のこれからの人生を考えて、仕事を辞めずに介護をする道を選びたい！よい方法はないでしょうか。

妻の想いを僕も応援したいと思っています。がんの療養をしながら、僕なりに家族を支えることはできないかな。



医療のサポート

日々の診療

2週間に1回、また体調によって週に1回、場合によっては毎日医師が訪問診療を行います。訪問看護ステーションと連携し、365日24時間体制で対応します。

痛みや辛い症状へのケア

症状を和らげるために、鎮痛剤（医療用麻薬など）の投与がご自宅で行えます。薬の管理などは医師や看護師だけでなく薬剤師もご自宅に来てくれます。

訪問診療や介護の方が来るたびに仕事を休まないといけないと思っていたけど、仕事をしている時にみなさん来てくれるんですね。

悩んだら 柏地域医療連携センターへ

医療・介護職の人に家庭内のことまで相談しているのか、これ以上迷惑かけられないなどでお悩みになったり、まずどこに相談したらいいのか分からない場合には、柏地域医療連携センターへご相談ください。これからの子育て、仕事、自分自身の不安事など、どうしたら前へ進めるのか、一緒になって考えていきます。一人で悩まず、小さなことでもお聞かせください。



柏市豊四季台1-1-118
☎ 04-7197-1510
開館時間 8:30～17:15
休館 土・日・祝日・年末年始

介護のサポート

無理のない介護サービス

iさんご家族の希望を聞きながら、無理なく日常生活が過ごせるようにケアマネジャーが計画を立ててくれます。

日中、iさんしか家にいない時でも入浴や食事などの支援が受けられます。また、家で日常生活を送れるようにリハビリも行えます。

介護サービスを利用することで、あいた時間に子どもたちと会話をしたり、宿題をみたりと一緒に過ごすことができます。

チームの連携を強化する

「顔の見える関係会議」

iさん一家をサポートする医療・介護の専門職はチームワークで患者さんやご家族の生活を見守ります。柏市では、関係団体の協力のもと独自の「顔の見える関係会議」を年に3～4回実施しています。会議の目的は、ワークショップを通じて職種を越えた関係作りを推進し、連携体制を綿密にし、効果的な医療・介護サービスの提供を目指しています。



サポートし続けることで、

患者さんご家族の大事な時間を守ります

今回のケースでは、多くの医療や介護の専門職がチームとなって、iさんと家族を支えています。家族が「がん」だとわかった時、病気のことはもちろん、生活全てにおいて不安なことばかりだと思います。日々の小さな心配事から今後どうなっていくんだろうという大きな漠然とした不安、どんなことでも在宅医療のチームメンバーに聞いてください。自宅で家族と過ごす大事な時間を少しでも安心して過ごすことができるよう、最後までサポートし続けます。



ホームクリニック柏 院長 織田暁寿

information

在宅医療の出前講座 お届けします！

柏市では、地域でのサロン活動や町会、学校などを訪問し在宅医療の出前講座を行っています。在宅医療の基本の説明から、みなさんが気になることまで詳しくお話しします。医師や看護師、理学療法士など患者さんの健康を見守る職種も現場の声をお届けします！講座をご希望される団体の代表者の方は、地域医療推進課へ電話にてご連絡ください。

柏市保健福祉部 地域医療推進課 ☎ 04-7197-1510



大洞院での講座の様子 ▲

「がん医療フォーラム」の様子をご自宅で！

昨年10月29日に行われた「がん医療フォーラム2017」の様子をパソコン、タブレット、スマホで見ることができます。当日ご来場できなかった方、興味がある方は、ぜひチェックしてみてください！右のQRコードからもサイトへアクセスできます。



[URL] <http://homecare.umin.jp/action/20171029.html>

? わがや質問箱!



Q 在宅医療の対象はがんだけなのでしょうか？

A 在宅医療の対象となる特定の病気はありません。また年齢も問いません。在宅医療が受けられる対象は「通院が困難となった場合」となります。

「わがや質問」ではみなさまからの医療・介護についての質問をお受けしています。応募方法は右記をご覧ください。

わがやクイズ!

○の中にあてはまる文字は？(答えは紙面に隠れています)

『○地域医療連携センター』

ヒント 在宅医療の相談場所。医療・介護の連携拠点です。

正解者の中から抽選で10名様に図書カード500円分をプレゼントします。右記の応募方法の必要事項をご記入のうえ、お送りください。*当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ・質問箱の応募方法

①～⑦の必要事項をご記入のうえ郵送、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。

①氏名 ②住所 ③年齢 ④クイズの答え ⑤質問箱への質問 ⑥「わがや」の感想 ⑦「わがや」をどこで知りましたか？(例：新聞折込み等)【締切】平成30年3月30日(金)必着 *クイズの回答、質問箱への質問のみの応募も可能です。

柏市保健福祉部 地域医療推進課
〒277-0845 柏市豊四季台1-1-118
FAX: 04-7197-1511
E-mail: wagaya@city.kashiwa.chiba.jp